

## 第 21 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会

# 開催記録

### 1 開催概要

- 日時：令和 4 年 8 月 3 日（水）10：00 ～ 11：00
- 場所：JR 東日本現地会議室
- 出席者：

表 出席者一覧

委員長	・谷川 章雄氏（早稲田大学 人間科学学術院 教授） ※オンライン出席
委員	・老川 慶喜氏（立教大学 名誉教授） ・小野田 滋氏（鉄道総合技術研究所 情報管理部 担当部長） ・古関 潤一氏（東京大学 社会基盤学専攻 教授）
オブザーバー	・文化庁文化財第二課 史跡部門 ・文化庁文化財第二課 埋蔵文化財部門 ・港区教育委員会事務局 教育推進部 図書文化財課 ・港区街づくり支援部 ・東京都 教育庁 地域教育支援部 管理課 ・東京都 交通局 建設工務部 計画改良課 ・東京都 建設局 道路建設部 鉄道関連事業課 ・独立行政法人都市再生機構 東日本都市再生本部 都心業務部 ・鉄道博物館 学芸部 ・東日本旅客鉄道株式会社 構造技術センター ・東日本旅客鉄道株式会社 グループ経営戦略本部 品川・大規模開発部門 ・東日本旅客鉄道株式会社 マーケティング本部
事務局 東日本旅客鉄道(株)	・東日本旅客鉄道株式会社 グループ経営戦略本部 品川・大規模開発部門 ・東日本旅客鉄道株式会社 マーケティング本部 他
サポート	・パシフィックコンサルタンツ(株)

- 当日配布資料
  - ・ 次第
  - ・ 資料 1： 第 20 回開催記録
  - ・ 資料 2-1： 高輪築堤調査状況について（7 月 22 日現在）
  - ・ 資料 2-2： 埋蔵文化財調査の進捗について
  - ・ 資料 2-3： 2 街区全体図
  - ・ 資料 3： 報告書作成の方針

## 2 議事要旨

---

### (1) 開会

- 第 21 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会を開会する。本日は谷川委員長がオンライン参加であり、進行は老川委員にお願いをしている。(事務局)
  - ← オンライン参加の谷川委員長に代わり進行を務める。(老川委員長代)

### (2) 第 20 回委員会 (7/6) の議事録確認

- 各委員事前に確認済みであり本委員会終了までに修正指摘がなければ確定とする。(老川委員長代)
  - ← 了解。(委員一同)

### (3) 調査の進捗について

- 2 街区の発掘調査は終了でよいか？(谷川委員長)
  - ← その通りである。(港区)
- 資料 2-1 で周知の埋蔵文化財包蔵地範囲を示しているが、6 月末に変更している。都の HP で更新しているので、今後の資料表記には反映してもらいたい。(東京都)

### (4) 報告書作成の方針

- 資料 3 は、前回提示した資料に加筆したものであり、その個所を下線で示す。(委員長)
- 「3. 自然科学分析の主題」の「土木工学による高輪築堤跡の検討」から「土木」という言葉を外し、「工学的観点からの検討」という表現をした方がよい。第 7 橋梁でのポアホールレーダー調査は土木工学に限るものではないので、そのような変更が適切である。(古関委員)
  - 土木工学がメインだが、信号機は通信機器となるので電気工学からのアプローチも必要になるので「工学的観点」という表現がよい。(小野田委員)
  - ← 逆に曖昧にならないか。「土木工学等工学的観点からの」という表現はいかがか。(老川委員長代)
    - 鉄道はシステムなので工学という言葉が最も全体を表している。(小野田委員)
    - 工学的観点は広い範囲を示すので、全体を含むというという理解でよいのではないか。(委員長)
    - ⇒ 「工学的観点」という表現に変更する。(老川委員長代)
- 接着剤は土木では目地と表現する。タール状のものが何なのかまだ明瞭ではない。あとから何か手を加えた時に付着した可能性など、引き続き確認が必要である。表現は「接着剤等」でもよい。(小野田委員)
  - ⇒ 「接着剤等」のままを進める。(老川委員長代)

- 「1. 発掘調査成果の着目点及び課題」に「高輪築堤以前の遺構・遺物」とあるが、その次に汽車土瓶などの「高輪築堤に関連する遺物」の項目を入れた方がよいと思う。(東京都)
  - ← 築堤に鉄道が通った後のものなので、2 つ目の項目ではなく下位の方がよいと考える。(JR)
  - ← 高輪築堤「跡」に関連する遺物という形がよい。(委員長)
  - ⇒ 箇条書きの最下位に「高輪築堤跡に関連する遺物」という項目を追加する。(老川委員長代)
- 品川宿の位置について、原田勝正先生の文献によると鉄道のルートを設定した後に海の方に移ったという記載があった。「高輪海岸及び周辺」の、周辺の中に品川宿も入るという理解で、品川宿に関する調査も大事である。(老川委員長代)
- 本日の指摘を受けた修正をもって、作成の方針を終了とする。(老川委員長代)

## (5) その他

- 報告書の作成スケジュールを教えてください。(小野田委員)
  - ← 示せる段階で示したいが、2 年 +  $\alpha$  くらいかかると想定している。(港区)
- 中間報告を出す予定はあるか。(小野田委員)
  - ← 注目も高いので、HP でデータによる中間報告などを考えたい。(港区)

## (6) 閉会

- 第 21 回高輪築堤調査・保存等検討委員会を閉会する。(事務局)

### 3 議事録

---

#### 3.1 開会

- (事務局) 第21回 高輪築堤調査・保存等検討委員会を開会する。本日は谷川委員長がオンライン参加となっている。
- ・ オンライン・サテライトの説明
  - ・ 配布資料の確認
  - ・ 次第の説明
- (事務局) 本日の進行は、老川委員にお願いをしている。
- (老川委員長代) オンライン参加の谷川委員長に代わり進行を務める。

#### 3.2 第20回委員会(7/6)の議事録確認

- (老川委員長代) 事前に確認をしているものとなる。内容について修正があれば、本委員会終了までに申告してもらいたい。申告がなければ確定とする。
- (委員一同) 了解。

#### 3.3 調査の進捗について

※港区より説明：資料 2-1・2-2・2-3

- (港区) 調査の進捗について資料 2-1 から順に説明する。2 街区の北横仕切堤だけ残っていたが完了し、本日午後に引き渡しを予定している。JR との協定に基づく調査はこれで完了となる。
- (老川委員長代) 何か質問はあるか？
- (委員長) 現場を見る機会がなかったが、2 街区は終了でよいか？
- (港区) その通りである。
- (委員長) 何とか終了ができてよかった。
- (東京都) 資料 2-1 の黒い太枠で周知の埋蔵文化財包蔵地範囲を示しているが、6 月末に変更している。6 街区と荷捌き部をつなぐかたちで南側に一部延長、また、第 7 橋梁に伴う南横仕切堤、北横仕切堤用の遺構、2 街区の北横仕切堤の計 4 か所が追加されている。都の HP で更新しているので、今後の資料表記には反映してもらいたい。
- (老川委員長代) 他になければ、次に進む。

### 3.4 報告書作成の方針

#### ※委員長より説明：資料3

- (委員長) 資料3は私から説明する。前回提示したものに加筆してある。加筆箇所はアンダーラインの箇所となる。「2. 考察の主題」の1つ目の「・」の中で、築堤の終焉の後に「埋め立て」、歴史的変遷の後に「技術の系譜」を加えた。江戸時代からの在来の技術と、西洋の技術の系譜の流れを明らかにしようということである。2つ目の「・」に近世史という表現を加えた。これは「4. 文献調査の主題」で江戸時代の高輪海岸及び周辺という追加をしているので対応させている。「3. 自然科学分析の主題」について接着剤と加えた。目地材等のことを指す。私の記憶では黒色のタール状の物質が台に付着していたものがあったと思われる。3つ目の「・」の土木工学による高輪区築堤跡の検討という部分は、古関先生から「工学的観点からの高輪築堤跡の検討」という表現がよいのではないかという指摘を受けている。「4. 文献調査の主題」については高輪海岸がどこまでの範囲か明瞭ではないため、及び周辺という表現をした。
- (古関委員) 前回の議事録にも「土木工学的観点からの検討が重要である」という私の発言があるが、「3. 自然科学分析の主題」3つ目の「・」は土木工学という言葉を外し、工学的観点からの検討という表現をした方がよいと思っている。第7橋梁ではボアホールレーダー調査を行ったが、これは土木工学に限るものではないので、そのような変更が適切かと思っている。
- (小野田委員) 土木工学がメインになるが、例えば信号機などは電気工学というか通信機器となるのでその分野からのアプローチも必要になる。ということで工学的観点がよい。
- (老川委員長代) 逆に曖昧になってしまわないか？「土木工学等工学的観点」からという表現はいかがか？
- (小野田委員) 鉄道はシステムなので、工学という言葉が最も全体を表している。
- (委員長) 工学的観点は割と広い範囲となる。そういうものを含むという理解でよろしいのではないか？
- (老川委員長代) 他になれば、工学的観点という表現と変更する。
- (小野田委員) 接着剤という表現は、土木では目地という表現をする。タール状のものが何なのかまだ明瞭ではない。アスファルトのような材料は当時まだなかったもので、あとから何か手を加えた時に付着してしまったものかなど、引き続き確認をしていくべきである。表現は「接着剤等」でもよい。
- (老川委員長代) 他になれば、「接着剤等」のままで進める。
- (東京都) 「1. 発掘調査成果の着目点及び課題」に1つ目の「・」に高輪築堤以

前の遺構・遺物とあるが、鉄道と関連する遺物を入れておいた方がよいと思うがいかがか？2つ目の「・」に「高輪築堤に関連する遺物」を追加するのはどうか。

- (JR) 汽車土瓶などは築堤に鉄道が通った後のものとなるので、2つ目の「・」でなく下位の方が座りがよいと思う。
- (老川委員長代) では最後の「・」として高輪築堤に関連する遺物という項目を追加することとしたい。
- (委員長) 「高輪築堤「跡」に関連する遺物」という表現がよい。
- (老川委員長代) 異論なければそのようにする。
- (老川委員長代) 「4. 文献調査の主題」、品川宿の位置について、原田勝正先生の文献によると鉄道のルートを設定した後に海の方に移ったという記載があった。「高輪海岸及び周辺」の、周辺の中に品川宿も入るという理解でよいかと思う。品川宿に関する調査も大事かと思われる。
- (老川委員長代) 他になければ、本日の指摘を受けて作成の方針を修正して終了とする。次に進む。

### 3.5 その他

- (小野田委員) 報告書のスケジュールを教えてください。
- (港区) 示せる段階で示したい。2年+ $\alpha$ くらいかかると想定している。
- (小野田委員) 中間報告を出すことはあるか？
- (港区) 注目も高いので、例えばHPでデータによる中間報告を行うなどを考えたい。汐留ほどにはならないと思うが9冊ほどでかなりのボリュームとなる。
- (老川委員長代) 他になければ、行政から意見をもらう。
- (文化庁) 本日、現地発掘調査が終わるということでよかった。
- (東京都) 報告書刊行までが発掘調査なので引き続き協力を頂きたい。
- (港区) これまでの調査への協力を感謝する。引き続き息の長い作業となるが、改めて気を引き締めて取り組みたい。引き続きご教授を頂きたい。
- (老川委員長代) それでは、本日は終了する。

### 3.6 閉会

- (事務局) 第21回高輪築堤調査・保存等検討委員会を閉会する。

以上